

## 北京武術トーナメント出場選手の戦法分析

**ロシア** 左への投げが得意。

1回戦:

右足払いー右後ろ蹴りー左巻き込み投げー右後ろ蹴りー右バックハンドー右後ろ蹴り／  
右回しをキャッチし、右へ捻り投げ(落し)

2回戦: 47:00～(対 **アルメニア** )

後ろ蹴り2回、バックハンド2回、左大内、  
右ローをキャッチして抱え投げ←一度フェイントで誘いローの角度を変え顔蹴る。

3回戦: **対 カナダ**

右回しをキャッチし、右へ捻り投げ(落し)←右中段の振りで(右ストから)左フック。

**右ストから入って来る←スリップかブロック、パリーから右カウンター。**

後ろ蹴り多用←一歩入って、抱えて相手の軸足(左)を左足払い。

バックハンド多用←同上、もしくは一歩入って、左支え釣り込み足か、左足払い。

4回戦: 1:07～(対 **マカオ** )

同上。

**マカオ** 00:27～(対 トルクメニスタン)

全試合: オーソックスで 左足を上げたがる(テコンドー)

左足刀が来る←左手で払って掛けて相手の軸足(右)を右足払い、もしくは着地した左足を蹴る。

ワン・ツウが大きい。←3回戦ロシアに同じ右カウンター。

左投げ多様←右足払いか、一旦受けて抱え投げ。

**アメリカ**

1回戦: 31:00～

サウスポー←右ローから、右ストから左フックか、左フックから右フック。

2度、左中段蹴りキャッチされ、右へ引かれ捻り投げ(落し)られる→投げに弱い。

2回戦: 56:00～

左横向きでステップして右ストレートで入って来る←3回戦ロシアに同じ右カウンター。

**エジプト** 1:02～(テコンドー?) 足を抱えられやすい。←柔術の前足タックルから引き倒し。

**ルーマニア** 対エジプト度々足取り。左投げに弱い。

**韓国** 04:25～ オーソックスでパンチは右のみ。

1回戦: 右ローに右カウンターが好き。←フェイントで誘い右カウンター

組んで右小外刈り←左へかわす。

左大内多用。←右へ振る、足払い、支え釣り込み足。

左支え釣り込み←体重を預ける。

2回戦: 左首投げで体を預けながら左手を添えて投げる。←膝蹴りが使えないので、潰すか、抱え投げ落す。